

授業の流儀、先生としての流儀、
教科「情報」に対する流儀を、岡本弘之先生に伺いました。



お話を
伺ったのは

聖母被昇天学院
中学校高等学校
岡本弘之 教諭
Okamoto Hiroyuki

‘68年大阪府生まれ。「社会と情報」と情報科の選択科目を指導。情報社会に求められる力は何か。生徒の将来を見据え指導に当たる。モットーは「授業で勝負する」。

グーグルで「情報科授業」と検索すると一番最初に表示されるWebサイトがある。それが『自転車操業の授業実践』情報科の授業アイデア。聖母被昇天学院高校で社会科と情報科を指導する岡本弘之先生のサイトだ。同サイトには、プリントやスライドが「自転車操業」とは思えないほど丁寧にアップされている。

「情報科ではコミュニケーション、とくに『伝える』ことに重点を置き授業を設計します」。

たとえば、単元「情報の表現と伝達」であれば「マイブームをプレゼンしよう」、問題解決であれば「後輩に情報モラルをプレゼンしよう」、メディアリテラシーであ

れば「私のメディア史を作ろう」というように。どの単元もプレゼン、もしくは成果物によって、「第三者に伝える」ことが意識されている。

前述の授業テーマのひとつ、「マイブームをプレゼンしよう」では、生徒は好きなことに取り組みるとあって嫌が応にも興味を駆り立てられる。

「とにかく『情報科嫌い』をなくしたい。食わず嫌いで終わらせないために、難しいことをいかにわかりやすく、やりたいと思える内容にするか」。

冒頭のサイトにアップされたプリント・スライドからもそれを伺い知れる。「大阪ツアーを企画し

よう」、「雑誌の取材記事を作ろう」、「学食メニューを提案しよう」など、テーマを見ただけで「受けてみたい」と思う授業が並ぶ。「こんな授業をやってみたくかった」、「これならウチでもできるかも」というように、岡本先生の授業は、学校の環境や生徒の意欲・学習状況を問わず、多くの人を惹き付ける魅力がある。

しかし、授業の目標が明確でも、その課題は容易ではない。生徒には「情報科は考えないといけないからしんどい」と言われる。真の狙いはそこにある。

「自分の担当教科である社会科と情報科が、実社会に一番近い教科だと信じています」。

実社会に密接した教科だから社会で必要な力を養う責任がある。ゆえに自分で考え、主張できる力を養う必要があると岡本先生は考える。だから「しんどくても、いかに歩かせるか」が勝負になる。多くの先生に授業が魅力的に映る理由は、しんどくても楽しい授業の構成力にあるのだろう。

そんな岡本先生の支えになっているのが卒業生の言葉。先生の授業が今、役に立っている――。

担当する教科が、生徒の将来を左右するという誇り。卒業生と会い、先の言葉を聞けたときが一番の幸せだと、岡本先生は笑う。

岡本先生の準備室



コメダ珈琲の回数券が授業準備のお伴

帰宅後、授業案を練ることもあれば、そんなときはPCを持ってコメダ珈琲へ。「いつの日か、PCを持たずにコメダ珈琲に行くのがささやかな夢です(笑)」。



必要不可欠な教科

「よく『社会科も教えているんですね』と不思議がられますが、社会科も情報科も、子供たちが生きる世の中に密接した教科。自分の中では社会も情報も同じくらい大切な存在です」。



多様な社会を見極める

「情報社会を生き抜く力を教えるには、まずは自分が社会を知る必要がある」と、専門書はもちろん、社会人向けの一般書や情報誌にも目を通す。その蓄積が授業案を練るとき礎となる。



紙幅の都合で紹介しきれなかったことは、日本文教出版のWebサイトで公開します。ぜひお越しください。

Art Direction / Eishi Takeda (hoop) Illustration / Hankiti Maeda Photo / Makoto Shima (p.2~3), Maki Arimoto (p.8)

情報科+ No.005

日文教育資料[情報]

平成28年(2016年)10月20日発行

編集・発行人 佐々木秀樹

発行所 日本文教出版株式会社

〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5

TEL: 06-6692-1261

本書の無断転載・複製を禁じます。

CD33330

日本文教出版 株式会社

<http://www.nichibun-g.co.jp/>

大阪本社 〒558-0041 大阪市住吉区南住吉4-7-5
TEL:06-6692-1261 FAX:06-6606-5171

東京本社 〒165-0026 東京都中野区新井1-2-16
TEL:03-3389-4611 FAX:03-3389-4618

九州支社 〒810-0022 福岡市中央区薬院3-11-14
TEL:092-531-7696 FAX:092-521-3938

東海支社 〒461-0004 名古屋市中区東区葵1-13-18-7F・B
TEL:052-979-7260 FAX:052-979-7261

北海道出張所 〒001-0909 札幌市北区新琴似9-12-1-1
TEL:011-764-1201 FAX:011-764-0690